

平成26年度

事業報告

社会福祉法人高浜市社会福祉協議会

平成26年度 事業報告

超少子高齢社会や人口減少社会が想定される中で、社会・経済情勢の変化等の諸課題に対する適切な対応が求められており、生活困窮者対策、子ども・子育て支援、障がい者の総合支援の具体的施行、介護保険の見直しや地域包括ケアシステムの構築が進められています。

また、地域においては、「無縁社会」と呼ばれる家族や地域のつながりの脆弱化、高齢者・障がい者の権利侵害など、福祉課題や生活課題が多様化しています。

地域の課題に取り組むためには、地域住民をはじめとした、民生児童委員、ボランティア活動者、地域の各団体などとともに、『公助・共助・自助』の関係を踏まえた上での連携・協働が図られなければなりません。

こうした状況の中、本会の使命である『かけがえのない一人ひとりを大切にし、助けあい、支えあいの心を地域に広げます。そして、だれもが幸せで笑顔あふれるまち「たかはま」を目指します。』を果たすため、以下の事業に取り組んでまいりました。

1 高浜版地域包括ケアのさらなる推進

介護保険施策では、単身高齢者、高齢者世帯の増加にともない、高齢者に対しての住み慣れた地域での生活を支えるため、「予防・介護・医療・生活支援・住まい」の視点に基づいた体制、地域包括ケアシステムの構築が目指されています。

本会では、子ども、障がい者、高齢者などに対する、さまざまな支援事業を行っていることを活かし、高浜版地域包括ケア推進の一助となれるよう、事業展開に努めるとともに、さらなる総合相談支援体制の充実を図るため、高浜市とともに権利擁護支援センターの設置に向け取り組んでまいりました。

2 「安心生活応援プラン事業」を中心とした地域福祉の推進

小学校区に配置されたコミュニティソーシャルワーカー(CSW)と民生児童委員、地域の皆さんとで支援を必要とする方の把握を、港小学校区では見守り隊の活動や青空市、吉浜小学校区では、認知症の方への地域の見守りなど取り組んでまいりました。

また、見守りや困りごとへの支援を行うために養成された「生活支援サポーター」については、研修等によるレベルアップを実施し、安心生活応援プラン事業の実施を通して、住民互助型ふれあいサービスや生活支援員派遣事業の担い手の育成にも積極的に取り組み、見守り・援助体制の充実に努めました。

さらに、平成27年4月に施行された生活困窮者自立支援法に先立ち、複合的な課題を抱える生活困窮者を生活保護に至る前の段階から支援を行う生活困窮者事業に高浜市とともに取り組んでまいりました。

※表の（ ）内は平成25年度実績

3 ボランティア活動の推進

市内で活動されているボランティア活動のさらなる推進を図るため、センターへの登録推進を進めました。

また、昨年度から引き続き、ふれあい力アップ養成講座を開催し、ふれあいサービス協力会員の養成と、ボランティア・生活支援員・生活支援サポーターのスキルアップ・コミュニケーション力のアップに努めました。

さらに、精神障がいテーマとし、正しい知識とスキルを学び、安心してボランティア活動が進められるきっかけを作るとともに、今後の精神障がい者の地域での居場所作りを目指したプログラムに取り組みました。

4 子育て支援事業の推進

高浜市いちごプラザでは、母親の育児不安や孤立感を軽減するための講座を開催し、子どもの発育を促す行事や講座などの情報提供を行い、子育て支援に取り組みました。また、新たな取り組みとして、「いちごカフェ」を開催し、母親同士が子育てに関する悩みや情報などを共有し合い悩みを分かち合えるよう努めました。

さらに、子育て支援センター、こども発達センター、心身障害児福祉施設みどり学園との連携を図り、地域の子育て家庭への支援など、安心して子育てができる環境整備に努めるとともに、就園前の子どもを持つ親を対象に、現役の園長による「幼稚園・保育園の生活について」の講話を開催し、就園に向けての親としての心構えや不安の解消を図ってまいりました。

5 障がい者の地域生活支援

平成25年度に高浜市から障害者相談支援事業を全面的に受託し、障がい福祉サービス利用者全員に対して、相談にのったり支援計画を作成したりして、障がいのある人の「働く」と「生活する」を一体的に支援することに努めました。

また、平成26年度に西三河南部西圏域に障害者就業・生活支援センターが設立され、いろいろな会議や打合せに参加して地域の就労支援と相談支援に関わる課題を共有し、これからの連携のあり方を検討することができました。

6 高齢者への在宅福祉サービスの充実

在宅福祉サービスの要となる介護保険サービスを中心にサービスの充実に努めました。通所介護においては、提供時間の延長と機能訓練の充実、訪問介護においては、定期巡回・随時対応型訪問介護サービスの開始により、在宅でも施設と同様に「必要な時に必要なケア」を提供し訪問看護との連携により医療面の充実に努めました。

7 法人内連携の強化・人材の育成

自らの事業所の法人での位置づけを認識し、本会の使命『かけがえのない一人ひとりを大切にし、助けあい、支えあいの心を地域に広げます。そして、だれもが幸せで笑顔あふれるまち「たかはま」を目指します。』を組織全体、全職員で取り組めるよう体制整備に努めてまいりました。

[主要成果]

1 法人運営事業

【決算額：61,603,548円】

(1) 会員募集

社会福祉協議会の会員として納めていただく会費は、ボランティア活動をはじめとした様々な地域福祉活動を実施していくうえでの大切な財源のひとつとなっています。多くの皆様が本会事業の趣旨に賛同し会員となり地域福祉活動を支えてくださいました。

区 分	会 費	会員数	(備 考)
一 般 会 員	2,421,227円 (2,485,292円)	8,397人 (8,289人)	年額 300円/口
特 別 会 員	62,000円 (60,000円)	33人 (31人)	年額 1,000円/口
法人(団体)会員	480,000円 (432,000円)	35社 (31社)	年額 2,000円/口
合 計	2,963,227円 (2,977,292円)	—	—

2 地域福祉推進事業

【決算額：9,853,677円】

(1) ボランティアひろばセンター事業

【決算額：3,827,013円】

26年度は、昨年度の団体訪問・事業所訪問でよせられたご意見をもとに、新たなつながりづくりに積極的に取り組んでまいりました。個人だけでなく、団体間の連携や、新しい取組などをしっかりサポートしていけるボランティアひろばセンターに努めました。

ボランティア活動人材の発掘と育成に努め、活動への参加と促進を図りました。

■ ボランティア登録

	人数等
団 体	114団体 1,670人 (110団体 1,827人)
個 人	84人 (74人)
合 計	1,754人 (1,901人)

■ ボランティア保険

	件数等
活動保険	1,395件 (1,465件)
行事保険	37件 (39件)
移送保険	12件 (16件)

※表の()内は平成25年度実績

■ ボランティア相談・コーディネート

	件数
ボランティアの支援相談	456 (344)
ボランティアの活動相談	3 (7)
コーディネート件数	459 (351)

■ ボランティアセンターだよりの発刊 年5回（全世帯配布）

■ ボランティア講座の開催

講座名	回数（回）	参加者（人）
さわやかふれあい講座「介護予防と回想法」	3	のべ39
災害ボランティアコーディネーター養成講座	2	21 (13)
手話奉仕員養成講座 入門課程	22	20 (7)

■ ボランティア井戸端会議の開催

日時 2月7日（土）9：45～12：00
 場所 いきいき広場 3階会議室
 参加者 31人（28人）

（2）安心生活応援プラン事業

【決算額：909,260円】

■ 人材育成（地域活動の担い手）

- ・地域の支えあい活動にご協力いただき「生活支援サポーター」のステップアップ講座をボランティアひろばセンターと協働して開催。
- ・権利擁護支援センターと協働し、「落語で学ぶ！成年後見制度！」の権利擁護フォーラムを開催。

■ ニーズキャッチの仕組みづくり

- ・ひとり暮らし高齢者のニーズ把握

民生・児童委員のご協力により、ひとり暮らしの方に、日頃の生活において困っていることや不安なことの聞き取り調査を行いました。

対象者：65歳以上の高齢者数 8,602人
 調査総数：912人 男338人・女574人

■ 地域の見守りネットワークづくり

（高浜南部まちづくり協議会）

- ・地域において日中孤立になる可能性がある75歳以上の高齢者と未婚の子世帯を対象に、地域の方に訪問していただきました。
- ・まちづくり協議会と訪問の状況共有：毎月1回
- ・「青空市」の開催：毎週日曜日

※表の（ ）内は平成25年度実績

(吉浜まちづくり協議会)

- ・地域の困りごとを「こっこネット」事業につなげるため、毎月1回吉浜まちづくり協議会高齢者生きがいグループと意見交換をしました。

(3) 地域福祉活動事業

【決算額：5,117,404円】

① CAPプログラム助成事業

子どもへの暴力防止プログラム事業	3校 (2校)	291,040円 (176,680円)
------------------	------------	------------------------

② 社会福祉協力校（福祉実践教室開催校）指定事業

社会福祉協力校指定（助成）事業	8校 (8校)	800,000円 (800,000円)
-----------------	------------	------------------------

③ 心配ごと相談事業

市民の日常生活のあらゆる相談に対し、専門家である弁護士が応じ、適切な助言、援助を行い、相談支援体制の強化を図るとともに地域住民の福祉の増進に努めました。

■相談所開設日数 23日（月2回）H26.8.21は予約0件のため実施せず

相談内容	相談件数
離婚	14 (13)
相続	21 (26)
金銭トラブル	8 (7)
家庭内・夫婦間トラブル	13 (16)
不動産トラブル	16 (12)
借金・自己破産	9 (4)
その他	13 (31)
合計	94 (109)

④ 車椅子貸出事業

在宅の要介護者及び身体障害者等に対し車椅子を貸し出し、日常生活の便宜や外出の促進を図り、その福祉の増進に努めました。

■利用状況（年度末所有台数66台）

利用者数 151人

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
貸出（件）	35 (35)	25 (28)	26 (20)	24 (28)	30 (28)	32 (39)

10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
38 (30)	38 (31)	29 (18)	32 (25)	25 (22)	32 (20)	366 (324)

※表の（ ）内は平成25年度実績

⑤ 助成事業

福祉団体の活動を支援し、福祉の増進に努めました。

区分	団体(園)数	助成額(円)
福祉団体に対する助成	16(16)	1,149,000(934,000)
一般助成	11(12)	504,000(445,000)
指定助成	1(1)	435,000(355,000)
特別事業助成	4(3)	210,000(134,000)
高齢者と園児とのふれあい事業	4(4)	35,352(39,226)
計		1,184,352(973,226)

⑥ わくわくフェスティバル

「つながり、支え合い、安心のしくみづくり」を基本理念として、地域に暮らす一人ひとりが共に支えあう地域福祉活動を推進するために開催しました。

- ・主 催 高浜市わくわくフェスティバル実行委員会
- ・日 時 11月2日(日) 午前9時30分～午後3時00分
- ・場 所 高浜市いきいき広場一帯
- ・テ ー マ もっとつながれ「話・輪・和」
- ・出展団体 ボランティア・市民団体等 60団体(64団体)
- ・協力団体 ボランティア・賛助企業等 8団体(11団体)
- ・ボランティア 述べ218人(244人)
- ・来場者数 3,600人(3,500人)

3 受託事業

【決算額：151,715,968円】

(1) いきいき健康マイレージ事業

【決算額：3,179,649円】

■登録状況

区 分	登録者(人)
健康づくり活動	899(808)
福祉ボランティア活動	175(203)
合計	1,074(1,011)

※ 活動重複者：150名(144名)

■福祉ボランティア活動受入施設

区 分	施設数
高齢者関連施設	25(25)
子育て関連施設	22(21)
障がい者関連施設	5(5)

※表の()内は平成25年度実績

(2) 宅老所管理運営事業

【決算額：5,633,009円】

- 登録者数 638人 (617人)
- 施設延利用者数 6,597人 (5,678人)

■ 施設別利用状況

区 分	利用者 (人)	1日当たり (人)
じい&ばあ	1,328 (936)	8.7 (6.1)
いっぷく	1,629 (1,465)	15.5 (14.5)
あっぱ	1,033 (1,123)	10.3 (10.9)
こっこちゃん	1,081 (1,163)	10.7 (11.4)
悠遊たかとり	1,526 (991)	15.0 (9.7)
合 計	6,597 (5,678)	

(3) 高齢者給食サービス事業

【決算額：10,369,285円】

65歳以上の一人暮らしと高齢者世帯を対象に、市内の7店の協力を得て、毎日夕食を配達し、在宅において継続した自立支援と安否確認に努めました。

■ 1食単価 600円

区 分	利用者数	延べ配食数
自立支援 (本人負担350円)	235 (253)	14,492 (16,875)
見守り (本人負担450円)	43 (48)	1,612 (1,689)
計	278 (301)	16,104 (18,564)

(4) 送迎サービス事業

【決算額：1,174,105円】

宅老所、高齢者筋力向上トレーニング、気軽に体操教室参加者への送迎を実施しました。

区 分	回数 (片道：1回)	延べ人数 (人)
宅老所	702 (718)	2,512 (1,921)
気軽に体操教室	30 (48)	88 (98)

(5) 居宅介護等支援給付事業

【決算額：18,571,791円】

介護用品や理・美容サービスが購入できる居宅介護支援券について、指定事業者の登録や居宅介護支援券の換金業務を行い、居宅における介護を側面的に支援しました。

区 分	店舗数	換 金 額 (円)
介護用品販売業	16 (17)	10,616,500 (10,730,000)
理容業	24 (24)	2,711,000 (2,665,500)
美容業	28 (29)	2,321,000 (2,179,000)
その他	3 (2)	568,500 (460,000)
合 計	71 (72)	16,217,000 (16,034,500)

※表の () 内は平成25年度実績

(6) 権利擁護支援センター運営事業《新規事業》

【決算額：7,494,725円】

高浜市と協働し、権利擁護推進体制構築のための「権利擁護支援センター」の開設に向けた調査・研究及び設置された権利擁護支援センターの運営を行いました。

■権利擁護支援センター先進地視察

視察先 兵庫県丹波市 高齢者あんしんセンター
兵庫県篠山市 福祉部
視察日 11月19日(水)

■権利擁護専門相談の開催

開催回数 9回(弁護士と福祉職 5回、司法書士と福祉職 4回)
相談件数 14件
※11月から開始

■権利擁護支援研修会の開催

日時 3月5日(木) 16:00~17:15
場所 いきいき広場 3階研修室A・B
講師 上田 晴男 氏(全国権利擁護支援ネットワーク事務局長)
参加者 34人

■権利擁護フォーラムの開催

テーマ 「落語で学ぶ!成年後見制度!」
日時 3月22日(日) 13:30~15:30
場所 いきいき広場 2階ホール
参加者 84人

(8) 生活支援員派遣事業

【決算額：708,423円】

判断能力の不十分な高齢者等に対し、福祉サービスに係る情報提供及び利用援助並びに金銭管理等を行う生活支援員を派遣し、要介護者等がよりよい福祉サービスが受けられるよう支援しました。

区分	利用者(人)	延べ支援回数(回)
障がい者	8(6)	281(178)
高齢者	12(9)	205(147)

利用相談 13件

(9) 生活困窮者自立支援事業《新規事業》

【決算額：5,728,730円】

26年度開設された生活困窮相談窓口に自立相談支援員を配置し、本人の状態に応じた包括的かつ継続的な相談支援等を実施し、生活困窮者の自立促進を図りました。

※表の()内は平成25年度実績

■ 相談件数

	相談者（人）	相談回数	新規相談件数
10月	2	2	2
11月	8	13	6
12月	12	17	5
1月	15	21	9
2月	9	11	7
3月	5	6	4
合計	51	70	33

(10) 要介護認定調査事業

【決算額：0円】

■ 介護認定調査件数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
件数	74(75)	68(61)	58(82)	58(85)	58(85)	55(74)

10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
52(78)	40(58)	32(70)	48(73)	57(74)	59(72)	659(887)

(11) ライフサポートアドバイザー（LSA）派遣事業

【決算額：1,712,506円】

市内にある高齢者世話付住宅（シルバーハウジング）、県営赤松住宅、県営葭池住宅で生活する高齢者に対して、生活援助員を派遣しました。

区分	県営赤松住宅	県営葭池住宅	計
派遣日数	244(244)日	244(244)日	488(488)日
緊急通報	0(0)件	12(7)件	12(7)件
誤報	11(6)件	18(39)件	29(45)件
生活相談	3(1)件	0(0)件	3(1)件
対人関係	0(0)件	2(0)件	2(0)件
その他	21(12)件	18(14)件	39(26)件

(12) 障がい者地域生活総合支援事業

【決算額：39,204,444円】

「働きたい」を実現するため、障がい者のつながりを広げることを基本目標に、総合コーディネーター及び就労担当相談員を障害者相談支援事業所に配置し、企業、関係機関、地域と連携を図り障がい者の就労支援体制、就労後のフォロー体制の構築に取り組みました。

障がい者のケース会議や障害福祉サービス事業所の会議を通じて、地域の課題を抽出し障害者地域自立支援協議会に挙げて検討しました。また、本会の中央保育園での障がい者雇用に向けて打合わせしたり職員を対象とした勉強会を実施したりしました。

※表の（ ）内は平成25年度実績

①相談支援

■早期発見、早期相談

- ・相談支援担当2名、計画相談担当4名（1名増員）を配置して、障害福祉サービス利用希望者が、スムーズに利用開始できるよう体制を整備。

■本人や家族が就労や生活についてイメージできる相談支援

- ・こども発達センターと共同で、障がい者の家族に対して、将来の就労や生活イメージを持つための研修会を開催。

■その人に必要な支援を考える。

- ・ケース検討会や障害福祉サービス事業者等連絡会議で話し合われた地域課題のうちグループホーム、移動手段について障害者地域自立支援協議会に挙げて検討し、障害福祉サービス検討部会を立ち上げ、順に検討を開始。
- ・日中一時支援や移動支援について、障害福祉サービス利用計画作成時やケース検討会で検討。
- ・精神障がいについての理解を深め、ボランティアやふれあいサービス会員を確保して、インフォーマルサービスにつなげるため、本会の地域福祉部門と連携して「ふれあい力養成講座」を開催。

■その他

- ・安城特別支援学校学区域の障害者相談支援事業所が集まって、相談支援、生活支援についての勉強会を毎月開催（12回）。

②就労支援

■学校などとの連携確立

- ・こども発達センターと共同で、障がい者の家族を対象に、将来の就労や生活イメージを持つための研修会を開催。

■障がい者施設との連携

- ・市内の就労移行支援事業所などを訪問し、就職希望者について打合せや就労に関する情報収集を行い、就職に向けての支援を実施。（6名）
- ・高浜市内の就労移行支援事業所などの事業所が毎月集まって、就労支援についての勉強会を開催（12回）。
- ・安城特別支援学校学区域の就労移行支援事業所などの事業所が集まって、就労支援についての勉強会を開催（10回）。
- ・地域の就労支援についての知識とスキルの向上を図るため、「J C - N E T ジョブコーチセミナー」（知立市）を共同開催。
また、障がいのある人の家族を主な対象として、就労についての希望や不安を把握し、働く意識を高めるため「たかはまはたらコフォーラム」を開催（高浜

※表の（ ）内は平成25年度実績

市：参加者44名)。その翌週には市内の就労移行支援事業所などの事業所見学ツアーを2回実施(参加者：合計12名)。

■アセスメントメニュー

- ・高浜市総合サービス株式会社でのチャレンジ雇用(いきいき広場の清掃業務)を実施。(1名)
- ・民間企業2社で職場実習を実施(2名)

■職場開拓

- ・市内の企業を訪問して職場開拓を行い、雇用に向けて業取り組んだ(19社)。
- ・企業で障がい者雇用の展開に向けての参考にするために、企業担当者を主な対象として、企業の障がい者雇用の事例を紹介したり意見交換したりする企業情報交換会を2回実施(第1回、2回とも11名の参加)。

■就労支援

- ・面談や職場見学、職場実習などの就労支援を実施(9名)。そのうち2名が就職。

■定着支援、

- ・面談や職場訪問などの定着支援を実施(21人)
- ・企業で働く障がいのある人が集まって、情報交換する「働く仲間のつどい絆ねっと」を原則として毎月第3土曜日に開催。(毎回3～4人の参加)

■広報「たかはまはたらこ通信」の発行

年3回各200部発行(チャレンジサポートたかはま委託)

(13) みどり学園管理運営事業

【決算額：20,153,175円】

小学校就学前の心身の発達に遅れのある児童をその保護者とともに集団療育し、児童の社会生活適応能力及び基本的生活習慣の自立促進並びに保護者の家庭における療育方法の習得に努めました。

低年齢の児童とその保護者を早期に療育につなげるため、グループを増設しました。母親研修会を年8回行い、こども発達センター専門職に講師として来てもらうことや、療育活動を通じ、臨床心理士と連携をとることで、他施設と連携した事業を推進することができました。

また、子どもの発達支援だけでなく家族支援、OB・地域とのつながりにも重点を置きながら、ふれあい教室やなつまつり、運動会などを行いました。

■利用者数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
利用者(人)	228 (309)	375 (473)	355 (359)	485 (338)	634 (509)	513 (364)

10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
599 (475)	370 (360)	388 (282)	439 (344)	432 (395)	470 (393)	5,288 (4,601)	440.7 (383.4)

(15) いちごプラザ管理運営事業

【決算額：10,820,217円】

主に乳幼児（0～3歳）の親とその子どもが気軽に集い、打ち解けた雰囲気の中で語り合い、交流を図ることや育児相談などを行う場を提供するとともに、子育て情報の発信収集を行うことで、子育てへの不安感の解消を図り、子育てに夢や希望を持ち、安心して子育てのできる環境整備に努めました。

■ 利用状況

つどいの広場	利用者子ども(人)	7,614 (7,562)
	利用者保護者(人)	6,568 (6,548)
	開館日(日)	304 (304)
情報室	利用者(人)	2,074 (2,216)
	開館日	304 (304)
談話室	利用者(人)	1,360 (1,209)
	開館日	304 (304)

(16) 子育て家族支援ネットワーク事業

【決算額：2,631,045円】

家にこもりがちな子育て世帯の主に母親が一人で育児・子育てを抱えこまないよう、育児に関する情報や多種多様な講座開催を子育て支援ネットワークのホームページやメールマガジンにて情報発信してきました。また、平成25年度より年齢別（0～3歳は毎週、3～5歳・小中学生は隔週）のメールマガジンを配信し、子育て世帯とのより細やかなつながりに努めました。

■ ノーバディーズパーフェクトプログラム講座

0歳児から5歳児までの保護者を対象に、参加者同士の交流を通して、子育ての問題解決を行うNP（ノーバディーズ・パーフェクト）プログラムを実施し、子育て家族支援を行いました。

開催日	参加者(人)
11月4日、11日、18日、25日、12月2日、9日	7(7)

※表の（ ）内は平成25年度実績

■利用状況（月平均4.6人）

定員	年 齢	年間延べ利用者（人）
5人	0歳児	0 (0)
	1歳児	32 (25)
	2歳児	24 (31)
	計	56 (56)

(19) 中央児童センター管理運営事業

【決算額：9,674,261円】

乳幼児親子に対し、発達センターと連携し健診後の気になる子のフォローとして、集団生活の経験を通し問題の軽減や改善を図り就園につなげていく親子教室や、児童に対し、豊かで多様な経験ができるような行事やクラブ活動を提供しました。

■ 受入状況

	利用者（人）
自由遊び	5,189 (3,710)
運動遊び	39 (109)
母親クラブ	638 (376)
子どもクラブ	944 (390)
親子教室	1,806 (1,294)
行事	4,488 (499)
計	9,064 (6,378)

(20) 中央児童クラブ運営事業

【決算額：6,831,507円】

昼間保護者のいない家庭の小学生1～3年を対象に放課後や学校休業日の預かりをしています。異年齢集団の中で相手を思いやることや、陶芸や木工等のさまざまな活動を経験できる機会を設けたりし、一人ひとりが楽しく安心した放課後を過ごせるようにしました。

■ 受入状況

	在籍数（人）	延人数（人）
4月	41 (40)	598 (604)
5月	42 (41)	552 (609)
6月	42 (42)	584 (602)
7月	42 (42)	667 (641)
8月	52 (45)	630 (571)
9月	37 (38)	506 (541)
10月	39 (36)	558 (544)
11月	38 (34)	474 (489)
12月	38 (34)	476 (483)

※表の（ ）内は平成25年度実績

1月	3 5 (33)	4 2 8 (436)
2月	3 5 (31)	4 4 3 (394)
3月	3 4 (32)	5 1 6 (419)
計	4 7 5 (448)	6, 4 3 2 (6,333)

4 共同募金配分金事業

【決算額：4,561,495円】

(1) 高齢者福祉事業

【決算額：911,000円】

- ふれあいサービス事業
- 安心生活応援プラン事業

(2) 障害児(者)福祉事業

【決算額：188,000円】

- おもちゃライブラリーの運営
- 車いす貸出事業整備費
- わくわくフェスティバル
- こころん号貸出事業

(3) 児童福祉事業

【決算額：1,009,495円】

- わくわくフェスティバル
- こころん号貸出事業

(4) ボランティア等事業

【決算額：2,303,000円】

- 福祉教育
- 社会福祉協議会広報紙「ふくし」の発行

(5) 歳末助けあい事業

【決算額：150,000円】

- 新入学児童・生徒への支援

5 福祉サービス事業

【決算額：2,811,023円】

(1) ふれあいサービス事業

【決算額：2,288,587円】

市民参加と協力による相互扶助の精神に基づき、家事、介護、移送サービス等を提供し、福祉の向上に努めました。平成25年度は、ボランティア広場センターと連携し、ふれあいサービスの人材確保及び育成に努めました。

■会員登録

	人数(人)
利用会員	1 0 7 (124)
協力会員	2 4 (37)
賛助会員	1 (15)

※表の()内は平成25年度実績

■活動状況

	件数
家事援助サービス	356 (384)
介護サービス	176 (149)
障がい者自立支援サービス	0 (30)
子育て支援サービス	55 (133)
移送サービス	868 (1,044)

■人材確保及び育成の取組み

講座名	開催日	場所	参加者(人)
ふれあい力養成講座 「コミュニケーション編」	1月24日、2月7日、 2月14日	いきいき広場	31

(2) 託児所運営事業

【決算額：288,324円】

■利用状況 月平均 26.0人(27.0人) 定員5名

年齢	0歳児	1～2歳児	3歳児	4～5歳児	延べ人数
人数	96 (48)	130 (93)	53 (54)	34 (67)	313 (326)

(3) こころん号貸出事業

【決算額：234,112円】

■利用状況

	利用実績
件数	134 (126)

6 基金運用事業

【決算額：109,922円】

基金の積立金の状況(平成27年3月31日現在)は、次のとおりです。

(1) 福祉基金運用事業

【決算額：7,922円】

福祉基金残高	33,692,000円 (35,979,233円)
--------	---------------------------

(2) ボランティア基金運用事業

【決算額：102,000円】

ボランティア基金残高	9,363,000円 (9,261,000円)
------------	-------------------------

7 資金貸付事業

【決算額：956,650円】

(1) 生活福祉資金貸付事業 (総合支援資金)

【決算額：207,000円】

	件数	合計金額(円)
貸付	0 (0)	0 (0)

※ 貸付限度額 200,000円/月額/世帯

※ 愛知県社会福祉協議会からの受託事業

※表の()内は平成25年度実績

(2) 愛の援護資金貸付事業 【決算額：200,000円】

	件数	合計金額 (円)
貸付	2(1)	200,000 (100,000)
償還	10(0)	80,000 (0)
免除	0(0)	0 (0)

※ 貸付限度額 100,000円/世帯

(3) 法外援護資金貸付事業 【決算額：549,650円】

	件数	合計金額 (円)
貸付	35(41)	549,650 (861,000)
償還	45(52)	618,650 (680,000)

※ 貸付限度額 30,000円/人

(4) 高等学校奨学金貸付事業 【決算額：0円】

	件数	合計金額 (円)
貸付	0(0)	0
償還	0(0)	0

8 積立金積立事業 【決算額：10,827,541円】

積立金の状況(平成27年3月31日現在)は、次のとおりです。

(1) 基本財産積立事業 【決算額：0円】

積立金残高	2,100,000円 (2,100,000)
-------	------------------------

(2) 退職給与積立事業 【決算額：10,827,541円】

退職共済預け金残高	16,846,950円 (15,410,100円)
積立預金残高	7,569,925円 (7,569,340円)
預貯金残高	32,428,446円 (30,884,825円)
計	56,845,321円 (53,864,265円)

9 障害福祉サービス事業 【決算額：46,926,010円】

(1) こころんサービス事業 【決算額：45,833,601円】

ひきつづき障害相談員とのミーティングを定期的に持ち、情報の共有化、問題点の可視化、短期目標の設定等を行ってきました。自立に向けて何が必要かを明確にし、ニーズに応えられるよう努めます。

■利用状況

区分	延べ利用者 (人)	延べ利用時間
居宅介護	534(453)	6,609(8,345)

※表の()内は平成25年度実績

同行援護	3 6 (28)	6 1 0 (-)
重度訪問介護	1 2 (12)	7 6 (-)
移動支援	5 6 8 (556)	4, 5 2 7 (4,847)
日中一時支援	2 2 5 (256)	4, 4 7 1 (-)
合 計	1, 3 7 5 (1,305)	1 6, 2 9 3 (16,624)

(2) 障害児（者）デイサービス事業

【決算額：1,092,409 円】

障がい児（者）がその有する能力及び適正に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、入浴、排せつ、食事の介護等を行いました。

■利用状況

区 分	延べ利用者（人）
生活介護	1 0 6 (191)
放課後デイ	4 9 (32)
合 計	1 5 5 (223)

10 介護保険事業

【決算額：230,524,254 円】

(1) 訪問介護事業

【決算額：85,357,586 円】

スマートフォンなどの活用により、利用者情報の随時把握、職員の業務管理の適正化も図ることができ、情報の共有が以前よりスムーズに行えるようになりました。他事業所との連携とヘルパー研修を重視し、利用者のニーズに応えられるよう質の向上に努めました。

■訪問介護

区 分	延べ利用者（人）	延べ利用回数
要支援1	1 4 8 (173)	8 1 2 (9 0 9)
要支援2	3 8 5 (375)	2, 8 0 6 (2,587)
要介護1	2 9 6 (415)	5, 1 3 1 (6,554)
要介護2	2 2 6 (271)	4, 1 9 9 (5,116)
要介護3	1 8 6 (161)	2, 6 6 7 (3,172)
要介護4	1 3 9 (208)	2, 1 1 3 (3,338)
要介護5	1 3 4 (144)	3, 0 8 3 (3,170)
合 計	1, 5 1 4 (1,747)	2 0, 8 1 1 (24,846)

(2) 訪問入浴介護事業

【決算額：14,000,000 円】

要介護状態又は要支援状態にある利用者に対し、心身の特性を踏まえ、残存機能を活かしながら、清潔の保持、気分転換をしていただけるよう居宅における入浴のサービスに努めました。

各関係機関と綿密な連携を図り、利用者1人1人のニーズにあわせ創意工夫に努めました。

※表の（ ）内は平成25年度実績

区分	延べ利用者(人)	延べ利用回数
要支援 1	—	—
要支援 2	1 7 (13)	1 1 7 (104)
要介護 1	3 (6)	6 (40)
要介護 2	3 1 (35)	1 3 6 (199)
要介護 3	2 9 (5)	1 3 3 (17)
要介護 4	3 9 (43)	1 5 5 (130)
要介護 5	5 8 (62)	2 6 6 (399)
合 計	1 7 7 (164)	8 1 3 (1,089)

(3) 定期巡回訪問介護事業

【決算額：1,141,000 円】

利用者の身体の状態や生活の状況にあわせ柔軟に対応し、生活全般を支えられるよう努めました。

ケアマネジャーや訪問看護との連携を綿密にとり、安心して在宅生活を送れるよう努めました。

区分	延べ利用者(人)	延べ利用回数 (回)
要介護 1	1 5	1, 2 5 4
要介護 2	5	2 9 5
要介護 3	3	2 3 3
要介護 4	0	0
要介護 5	0	0
合 計	2 3	1, 7 8 2

(4) 通所介護事業

【決算額：59,431,474 円】

要介護状態又は要支援状態にある高齢者の方に対し、心身の特性を踏まえ、その有する能力に応じ、自立した生活を送れるように努めました。

南部保育園の園児との交流、夏祭り、運動会でのボランティアさんとの交流を行い、地域とのかかわりができる様に努めました。

さらに、医療面では胃ろう、吸痰導尿などが必要な方が安心してご利用できるよう各関係機関と綿密な連携を図り、ご家族、利用者の方への総合的なサービスの提供に努めました。

■南部デイサービスセンター

■主な行事

- ・誕生日会 (毎月)
- ・季節行事 (花見、七夕、敬老会、運動会、忘年会、初詣、節分等)

※表の () 内は平成 25 年度実績

■ 利用実績

区 分	延べ利用回数
要支援 1	9 8 (8)
要支援 2	3 2 2 (476)
要介護 1	2, 1 7 1 (1, 960)
要介護 2	1, 2 7 2 (2, 016)
要介護 3	1, 0 9 7 (910)
要介護 4	7 4 5 (452)
要介護 5	5 0 1 (466)
合 計	6, 2 0 6 (6, 333)

(5) 認知症対応型共同生活介護事業

【決算額：26,206,231 円】

要介護者であって認知症状態にある高齢者に対し、共同生活において家庭的な環境の下で、入浴、排せつ、食事等の介護その他日常生活上の世話及び機能訓練を行い、利用者がその有する能力に応じ、自立した日常生活を営むことができるよう、各関係機関との綿密な連携を図り、総合的なサービスの提供に努めました。

■ グループホーム「あうん」

■ 主な行事

- ・ 季節行事（花見、七夕、お月見会、クリスマス会、イチゴ刈り等）
- ・ 家族交流会（年2回）、家族定例会（年4回）
- ・ 施設交流・地域交流・学校との交流（随時）
- ・ ボランティア活動（毎月清掃活動に参加）
- ・ 誕生日会
- ・ 避難訓練

■ 入居状況

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
人数(人)	6 (6)	6 (6)	6 (6)	6 (6)	6 (6)	6 (6)
10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
6 (6)	6 (6)	6 (6)	6 (6)	6 (6)	6 (6)	72 (72)

■ 利用者要介護度（平成27年3月末現在）

区分	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計
人数(人)	0 (0)	1 (1)	3 (3)	2 (2)	0 (0)	6 (6)

(6) 居宅介護支援事業

【決算額：28,935,254 円】

要介護状態又は要支援状態にある高齢者等に対し、利用者の心身の状況やその環境に応じて、利用者の意思及び人格を尊重し、各関係機関との綿密な連携を図り、適正な居宅介護支援に努めました。

※表の（ ）内は平成25年度実績

■延べ利用者 : 1, 927人(2,204人)

■1月当たり平均: 160人(183人)

■利用者要介護度(平成27年3月末現在)

区分	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
人数(人)	8(5)	10(19)	51(67)	43(50)	27(14)	11(9)	8(9)	158(173)

(7) 小規模多機能型居宅介護事業

【決算額: 15,388,639円】

地域密着型サービス事業所として、地域との交流を視野に入れサービス提供をしてきました。

こころん祭りの開催、さわたりふれあいサロンの行事参加、わくわくフェスティバルへの参加、恒例となった中央保育園・高浜南部保育園・みどり学園への卒園プレゼントなど小規模多機能型居宅介護「オリーブ」が地域と交流し地域住民に認知してもらえるよう活動しました。

■主な行事

- ・季節行事(初詣、節分、ひな祭り、花見、こどもの日、菖蒲見学、七夕、流しそらめん、お月見会、遠足、クリスマス会等)
- ・誕生日会
- ・避難訓練
- ・日中一時支援事業所との交流
- ・地域交流(幼保育園訪問等)
- ・施設交流(市内事業所作品展出展等)

■利用状況

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
人数	4(8)	4(7)	5(7)	5(7)	5(8)	5(7)

10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
5(6)	6(6)	6(6)	6(6)	6(6)	6(5)	59(79)

■利用者要介護度(平成26年3月末現在)

区分	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
人数(人)	2(0)	1(2)	2(0)	1(3)	0(0)	0(0)	0(0)	6(5)

11 南部保育園管理運営事業

【決算額: 122,084,917円】

民間保育所である高浜南部保育園の特性を十分に生かし、延長保育、一時保育、休日保育、乳児保育、障がい児保育など多様化する保育ニーズに柔軟に対応し、共働き家庭の保育を支援するとともに、養護の行き届いた環境のもとで、心身の健全な育成に努めました。

※表の()内は平成25年度実績

■ 入園状況

定員	年間延べ園児数(人)
120	1,674(1,671)

■ 年齢別

0歳児	1～2歳児	3歳児	4～5歳児	計
5.8人 (6.0人)	43.8人 (42.3人)	29.8人 (30.1人)	60.08人 (60.8人)	139.5人 (139.2人)

一時的保育事業

保護者の就労、疾病等緊急事由により、一時的に家庭での保育が困難となった児童を預かり、保護者の負担を和らげるよう子育て支援に努めました。

■ 受け入れ状況

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
人数(人)	53(61)	44(65)	45(66)	54(92)	51(68)	46(51)	48(73)

11月	12月	1月	2月	3月	合計	1日平均
37(60)	35(37)	42(49)	46(65)	84(90)	585(777)	2.0(2.6)

12 中央保育園管理運営事業

【決算額：127,750,325円】

園児や保護者が不安にならず、安心していただけるよう保育に努めました。児童センターとの連携を持ち、地域に根ざした保育園になるように取り組みました。

■ 入園状況(月平均 181.2人)

定員	年間延べ園児数(人)
190	2,175(2,190)

■ 年齢別

0歳児	1～2歳児	3歳児	4～5歳児	H26合計
9.0人 (8.3人)	33.0人 (33.6人)	44.4人 (49.5人)	94.8人 (90.9人)	181.2人 (182.3人)

13 収益事業(自動販売機設置事業)

【決算額：255,778円】

社会福祉制度の維持・充実を図るには、本会においても財源調達力を高める必要があることから、飲料水自動販売機の設置による自主財源の確保に努めました。

■設置場所	高浜南部保育園	1台
	小規模多機能型居宅介護事業所「オリーブ」	1台
	いきいき広場3階	2台

※表の()内は平成25年度実績

		高浜南部 保育園	小規模多機 能型居宅介 護「カーブ」	いきいき広場	計
売上本 数(本)	年間	1,602 (1,565)	1,185 (1,986)	7,038 (6,889)	9,825 (10,438)
	月平均	134 (130)	99 (166)	586 (574)	818 (870)
売上金 額(円)	年間	56,070 (54,775)	41,475 (69,510)	158,186 (144,698)	255,731 (268,983)
	月平均	4,673 (4,565)	3,456 (5,793)	13,182 (12,058)	21,310 (22,416)

※1本につき35円の売上

14 理事会、評議員会、監査会開催状況

■ 理事、評議員会 平成26年5月20日 いきいき広場 研修室

○報告事項

- ・平成26年度社会福祉法人高浜市社会福祉協議会一般会計予算予備費充用（第1回）について

○主な議案

- ・平成25年度社会福祉法人高浜市社会福祉協議会事業報告並びに収支決算の認定（承認）について(理事会・評議員会)
- ・社会福祉法人高浜市社会福祉協議会評議員の選任について(理事会)
- ・社会福祉法人高浜市社会福祉協議会理事の選任について(評議員会)
- ・社会福祉法人高浜市社会福祉協議会監事の選任について(評議員会)

■ 理事会（臨時） 平成26年6月1日 いきいき広場 研修室

○主な議案

- ・社会福祉法人高浜市社会福祉協議会会長、副会長の選任について

■ 理事、評議員会 平成26年7月29日 いきいき広場 研修室

○報告事項

- ・平成26年度社会福祉法人高浜市社会福祉協議会一般会計予算予備費の充用（第2回）について(理事会)

○主な議案

- ・平成26年度社会福祉法人高浜市社会福祉協議会一般会計補正予算（第1回）について(理事会・評議員会)
- ・新会計基準移行会計システム構築業務委託に係る随意契約について(理事会・評議員会)

※表の（ ）内は平成25年度実績

- ・社会福祉法人高浜市福祉協議会評議員の選任について(理事会)
- ・社会福祉法人高浜市福祉協議会理事の選任について(評議員会)
- ・スチームコンベクションオープン購入に係る指名競争入札参加業者の指名について(理事会、評議員会)
- ・平成26年度社会福祉法人高浜市社会福祉協議会一般会計補正予算(第2回)について(理事会、評議員会)
- ・地域共生型福祉施設建設工事にかかる指名競争入札参加業者の指名について(理事会、評議員会)

■ 理事会、評議員会 平成27年1月26日 いきいき広場 研修室

○報告事項

- ・新会計基準移行会計システム構築業務委託契約について(理事会・評議員会)
- ・スチームコンベクションオープン購入契約について(理事会・評議員会)
- ・地域共生型福祉施設整備工事指名競争入札結果について(理事会・評議員会)
- ・平成26年度社会福祉法人高浜市社会福祉協議会一般会計補正予算(第3回)について(理事会・評議員会)

○主な議案

- ・高浜市社会福祉協議会職員給与規程の一部改正について(理事会)
- ・高浜市社会福祉協議会臨時職員の雇用に関する規程の一部改正について(理事会)
- ・高浜市社会福祉協議会職員の育児・介護休業等に関する規程の一部改正について(理事会)
- ・平成26年度社会福祉法人高浜市社会福祉協議会一般会計補正予算(第4回)について(理事会、評議員会)
- ・24時間定期巡回・随時対応型訪問介護支援システム改修業務委託(モバイルプリンタ対応)に係る随意契約について(理事会、評議員会)
- ・社会福祉法人高浜市社会福祉協議会理事の選任について(評議員会)

■ 理事会、評議員会 平成27年3月23日 いきいき広場 研修室

○報告事項

- ・24時間定期巡回・随時対応型訪問介護支援システム改修業務委託(モバイルプリンタ対応)契約について(理事会、評議員会)

○主な議案

- ・平成26年度社会福祉法人高浜市社会福祉協議会一般会計補正予算(第5回)について(理事会、評議員会)
- ・高浜市社会福祉協議会事務局規程の一部改正について(理事会、評議員会)
- ・高浜市社会福祉協議会給与規程の一部改正について(理事会、評議員会)
- ・訪問介護支援センター設置規程の制定について(理事会、評議員会)

※表の()内は平成25年度実績

- ・高浜市社会福祉協議会経理規程全部改正について（理事会、評議員会）
- ・平成27年度社会福祉法人高浜市社会福祉協議会事業計画について（理事会、評議員会）
- ・平成27年度社会福祉法人高浜市社会福祉協議会高浜南部保育園事業計画について（理事会、評議員会）
- ・平成27年度社会福祉法人高浜市社会福祉協議会中央保育園事業計画について（理事会、評議員会）
- ・平成27年度社会福祉法人高浜市社会福祉協議会予算について（理事会、評議員会）
- ・給食調理業務委託（高浜南部保育園・指定通所介護事業所）に係る随意契約について（理事会、評議員会）
- ・給食調理業務委託（中央保育園）に係る随意契約について（理事会、評議員会）
- ・地域共生型福祉施設建設工事にかかる指名競争入札参加業者の指名について（理事会、評議員会）
- ・社会福祉法人高浜市社会福祉協議会評議員の選任について（理事会）